会 議 録

会議名	令和3年度 第4回 丸亀市行政改革推進委員会
開催日時	令和4年2月18日（金）14:00～15:00
開催場所	オンライン会議
出席者	<p>出席委員 秋山千枝、植谷澄子、玉井瑞又、吉澤康代、小野賢治、砂本健、高畑安代、眞鍋宣訓</p> <p>欠席委員 亀井仁志、早馬倫代、山中雅大、松岡美佐子、小亀修</p> <p>事務局 市長公室長 山地幸夫 （市長公室秘書政策課） 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 宇野大志郎</p> <p>説明のために出席した者 職員課長 徳田寛、財政課長 宮西浩二</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. パブリック・コメントに寄せられた意見と市の考え方について 2. 答申書（案）について 3. その他
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただいまから令和3年度第4回丸亀市行政改革推進委員会を開会します。 本日は大変お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。また、コロナの感染拡大が収まらない中、急遽、オンラインで開催することになりましたが、ご対応いただきましてありがとうございます。 議事に入ります前に、本日の資料の確認をいたします。</p> <p style="text-align: center;">《資料の確認》</p> <p>ここからは、丸亀市附属機関設置条例の第7条に基づきまして、吉澤会長に議事進行をお願いします。会長、よろしくをお願いします。</p>
吉澤会長	<p>それでは、わたしの方で進めさせていただきます。 本日の会議は、委員総数 13 名中 8 名が出席されていますので、丸亀市附属機関設置条例により、会議が有効に成立していることをご報告します。 それでは議題の1点目、「パブリック・コメントに寄せられた意見と市の考え方について」、事務局より説明をお願いします。</p>
谷本副課長	《資料1に基づき説明》
吉澤会長	ただいまの説明に関してご質問、ご意見のある方はお願いします。

<p>谷本副課長</p>	<p>特にご質問もないようですので、次の議題に移ります。「答申書（案）について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p>先ほどのパブリック・コメントへの市からの回答ですが、今後、本日と同様の回答案を庁内会議に諮ったうえで、意見をくださったご本人に回答を送付するとともに、市ホームページでも公表してまいります。</p> <p>引き続きまして、資料2をお手元にご用意ください。答申書（案）についてご説明します。</p> <p style="text-align: center;">《資料2に基づき説明》</p>
<p>吉澤会長</p>	<p>ただいまの説明に関してご質問、ご意見のある方はお願いします。</p>
<p>小野委員</p>	<p>最初にお聞きしますが、資料3の「第五次丸亀市行政改革プラン（案）」（以下、「プラン（案）」という。）の内容について、今日の審議による修正は可能でしょうか。</p>
<p>谷本副課長</p>	<p>委員会での意見を踏まえたプラン（案）に対してパブリック・コメントを行いましたので、基本的に、パブリック・コメントによるもののほかは変更することはないと考えています。</p>
<p>小野委員</p>	<p>例えば、前回の会議でわたしが指摘した、23 ページ取組番号⑰の「有給休暇取得5日未満の職員数」についてですが、「毎年減らす」ということに変更していただきました。しかし、それでいいのかということが会議で諮られないままパブリック・コメントが実施されましたので、今日の会議での意見を受けて、可能であれば修正していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>ほかの取組において現状を書いているものもあると思うので、例えば、令和3年末の年休取得5日未満の職員数を記載していただき、極論かもしれませんが、毎年その数を半減させていくぐらいの計画を立てる必要があると思います。前回会議でも指摘させていただいたとおり、年5日の年休取得が義務付けられている民間企業の場合は、それを守らないと違法行為になります。今の記載のように、毎年1人でも2人でも減数というのでは弱いのではないかと思いますので、ご考慮をお願いします。</p>
<p>窪田課長</p>	<p>前回までの議論や、小野委員のご意見に沿った形でプランを修正し、その後、委員のみなさんにプラン（案）を送付して、この案でパブリック・コメントを実施することについて確認させていただいております。</p> <p>プラン修正の基本的な考え方としましては、これまでの議論を可能な限り反映させたプラン（案）に対してパブリック・コメントを実施し、寄せられた意見の内容を確認したうえで最終案を作成して、今回お示しをしているというのが市の考え方でございます。</p> <p>ただ、本日の委員のみなさんのご意見をお聴きしないということはありませんの</p>

	<p>で、ご意見についてはおっしゃっていただいて、これからプランを推進する中で、参考にさせていただきたいと考えております。</p>
<p>小野委員</p>	<p>分かりました。意見として、あと1点だけ言わせていただきたいと思います。</p> <p>前回の会議でお伝えした方がよかったかとも思いますが、パブリック・コメントでも、「㊸民間委託等の推進」の取組について記載している「民間委託など検討事業数2件以上」について意見が出されていましたが、わたしも、わざわざ「2件以上」と書く必要があるのかと思います。その記載の上側に「検討」と書いていますので、そこまででとどめるのでいいのではないかと思います。</p> <p>そのほか、答申書（案）について1点あります。</p> <p>「1. 業務改善による生産性の向上について」の一つ目の丸の意見に、「デジタル・デバインド」という表現があります。この言葉がずっと頭に入ってくる人がどれくらいいるのかと思いますので、わざわざカタカナの表現を使う必要はないのではないのでしょうか。</p>
<p>谷本副課長</p>	<p>1点目の民間委託などの検討事業数についてですが、今回のプランにつきましては、できるだけ数値目標を入れていきたいという思いがありましたので、少なくとも毎年2件以上は検討していこうと考えて件数を入れました。</p> <p>もう1点の「デジタル・デバインド対策」の表現についてですが、あえてそういう言葉を使わなくてもいいかと思しますので、別の表現が適当であれば、この場でご検討いただきたいと思います。</p>
<p>吉澤会長</p>	<p>「デジタル・デバインド」の表現を変えるとすれば、具体的にどのような表現があるのでしょうか。小野委員、いかがですか。</p>
<p>小野委員</p>	<p>簡単に、「情報弱者にも配慮したうえで取り組んでいただきたい」という表現でいいのではないのでしょうか。</p>
<p>窪田課長</p>	<p>「デジタル・デバインド」という表現は、最近、国がデジタル化を加速させる中で、国が出す文書などでも使われているので、わたしどもの方も使わせていただきました。説明書きの追加など、委員会において議論をしていただいて、修正案をご提示いただければと思います。</p> <p>なお、修正に関する事で少し付け加えますと、資料3のプラン（案）については、修正はないものと考えていますが、資料1と2につきましては修正が可能です。特に、資料2の答申書（案）は、当委員会から市長に提出していただくものですので、この場で意見を交わしていただき、修正や追記が必要であれば、言っていただきたいと思います。</p>
<p>吉澤会長</p>	<p>「デジタル・デバインド」の表現も含めた、一つ目の丸の後半の文章表現について、具体的にご提案いただければと思います。</p>

眞鍋副会長	<p>今、確かに「デジタル・デバイド対策」というと、分かる方が何割いるのかというのは事実だと思いますが、先ほど事務局の方もおっしゃったように、こういう言葉がどんどん国から降ってきているのは事実だと思います。</p> <p>「デジタル・デバイド対策」という表現が一つの言葉になっていますので、こういう場合であれば、「デジタル・デバイド」の後に「情報格差」という言葉を括弧書きで入れ、今後、「デジタル・デバイド」という言葉の認知度が上がってきたら、括弧書きをはずすというのではいかがでしょうか。</p>
秋山委員	<p>眞鍋委員と同じで、「情報格差」という表現を括弧書きしていただけたらいいと思います。また、それとは別に、意味合いのことを注記するというのも大事かとは思いますが、わたしたちも普通にこの言葉を使いますので違和感はありませんでした。</p>
植谷委員	<p>「情報弱者」という表現も分かりやすいと思います。しかし、人権への配慮という点から考えますと、新しい言葉ではありますが、「デバイド」という言葉を使って、格差があるということ表現する方がいいと思いました。</p>
吉澤会長	<p>今のご意見は、「デジタル・デバイド」の前の「情報弱者」という表現を修正した方がいいのではないかというご意見でよろしいですか。</p>
植谷委員	<p>はい。「情報弱者」という言葉を使わずに、格差があることへの配慮という意味合いの文章にしてもいいかと思いました。</p>
吉澤会長	<p>作文の問題だと思いますが、「情報弱者」という言葉を使わずに、「デジタル・デバイド（情報格差）対策に取り組む」という形がすっきりするのではないのでしょうか。</p> <p>確認します。現在の「情報弱者にも配慮したデジタル・デバイド対策」を、「デジタル・デバイド（情報格差）対策」に置き換えるということではよろしいのでしょうか。</p>
	<p>(委員、了承)</p> <p>ほかにご意見はありませんか。</p> <p>事務局にお聞きします。答申書（案）に書かれている一つ一つの意見について丁寧に見ていった方がいいのですか。</p>
谷本副課長	<p>答申書（案）につきましては、事前に読んでいただいていると思いますので、今のような進め方で、気になるところを挙げてもらって、修正が必要であれば修正していくというやり方でいいと思います。</p>
吉澤会長	<p>答申書（案）は事前にみなさんのお手元に送付されていると思いますので、お気づきの点があればお願いします。漏れているご意見や思いがあるのではないかと思いますので、もしあればお願いします。</p>

谷本副課長	<p>確かに、これまでの議論の中で個別の意見がたくさんありましたが、今回はそれらを大きくまとめて記載いたしました。そのうえで、追記してほしい意見があるようでしたら、意見のバランスの問題はありますが、委員会において議論していただいて、必要があれば答申書(案)に追記するというようにしていただいて結構かと思います。</p>
吉澤会長	<p>いかがですか。特にもうないということによろしいでしょうか。</p> <p>わたしが事前に目を通して気づいた点として、基金について、みなさんと不安感や危機感を議論したと記憶しておりましたので、「中長期的展望に立つ着実な財政運営に取り組んでいただきたい」という表現に変更していただきました。また、公共施設についても効率的だけでなく効果的にご意見が幾つかありましたので、そういうご意見を含めていただくようお願いをしました。</p> <p>では、ほかにご質問、ご意見もないようですので、2点目の議事は終了します。最後に「(3) その他」ですが、事務局から何かありますか。</p>
谷本副課長	<p>今後についてですが、答申書(案)について、本日1か所修正が出ましたので、それを直したうえで、行政改革推進委員会から市長に、「答申書」の提出をお願いするようになります。</p> <p>その提出の仕方ですが、会長、副会長、それからほかの委員さんも可能な限り、ということにはなりますが、市役所に来ていただいて、直接、市長に提出するという方法をとるかどうかということをまず決めていただきたいと思っています。スケジュールとしては、3月中旬ぐらいまでで、会長の都合と合わせて日時を決めていきたいと思っています。</p> <p>行政改革推進委員会から市長に答申書を提出していただいた後、今年度中に庁内の会議でプランについて最終決定をしたいと考えております。</p>
吉澤会長	<p>答申書の提出について、みなさんからご意見があれば、よろしくお願いします。</p> <p>まずは、対面で渡すのか、それ以外かということ。また、対面で渡すのであれば会長、副会長、そのほか、誰が行くのかということ。時期は、3月中旬までということですがけれどもいかがでしょうか。</p>
眞鍋副会長	<p>会長と副会長とで提出するというのでいいのではないのでしょうか。</p>
吉澤会長	<p>では、会長と副会長とで、対面を基本にして提出するという方向性で調整していただこうと思いますが、ほかの委員の方はよろしいでしょうか。</p> <p>(委員、了承)</p> <p>それでは以上をもちまして、令和3年度第4回行政改革推進委員会を終了したいと思います。みなさま、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>